

問 災害時における電源確保について

答 現行では不十分であるが、計画的に発電機の配置を予定。



澤 史朗 議員

電源確保に電気自動車の導入を。

◆東総務部長

◆坂田危機管理監

答 ①停電対策用防災備蓄品として発電機を10台

問 台風21号により市内一部で停電が発生したが、①災害による停電時の対応は十分か。②緊急時の

問 小中学校の二期制について

答 来年度から古川中学校、神岡中学校、神岡小学校で二期制を導入。

問 小中学校の二期制制について、①導入への進捗状況は、②前期後期の区切りの休日は。

◆沖畑教育長

答 ①今年度学校ごとに

問 10年後の福祉サービスの質の担保と財源確保の見通しについて

答 法定サービスとしての運営に移行しながら財政負担を抑制し安定的な経営が可能と考える。

問 福祉施設整備は必要だが、人口減の中それを支える人材と財源は十分に考えられているか。

◆都竹市長

答 社会保障関係費は平成19～29年度の10年間で約3億7千万円増加したが、地方交付税等の措置で一般財源負担は逆に

を公民館や消防団器具庫に配置。32年度は神岡町にも配置予定31年度には避難所備蓄品の中に発電機1台を入れる予定だが、まだ不十分と考える。②自動車メーカーと今年度内に電気自動車活用の協定締結を視野に協議を進めている。災害時の備えと環境対策の両面から公用車への電気自動車導入を前向きに検討したい。

ズに行くよう支援し、広報等で市民にも周知予定。②10月第2月曜日の体育の日を含め休みは3日間だが、子どもたちの気持ちの切り替えには十分時間をかけ、新たな気持ちで後期のスタートが切れるようにしたい。

1億円減少。高齢者の増加と現役世代の減少は国全体で議論される問題で、市はこの議論を常に注視し、不利な改正・制度には意見を述べていく。人材確保の面は、現在取組み中の医療介護、福祉人材育成の中で確保を図る。

問 区長配布が多いことに対する改善について

答 配布物の削減が図れないか検討していく



仲谷 丈吾 議員

問 10月はじめに議会と市民の皆様との意見交換会を開催した際に、市民の方から区長配布の印刷物が多いという意見があった。総務部で確認したところ、これまでも何人かの区長から、区長配布が多いという話が寄せられていたとの事。区長配布は、組長が各家に配るが、多い地区では20軒以上の家に配達しているところもある。車で配っている方もいる。足の悪い方もいる。区長や組長になると負担が大き

いという事で、役員の入り手がいなくなる等、区入りしない方も増えるような事に発展していく可能性はある。高齢化してきて、人口も減っていく

中で、時代に合わせた改善が必要。区長も大変だが、仕分けに関わる職員も相当な時間を費やすことになる。働き手が不足していく中、今後改善していく必要がある。高山市では町内による全戸配布を一切行っていない。広報紙でさえ新聞折込しており、新聞未購読世帯には業者が直接届けている。支所地域はシルバー人材センターにより各家庭に配布される。①区長配布を減らす事はできないか。②公益的活動に対して新聞折込する場合補助できないか。

察関係は回覧のみ35件、福祉団体、施設関係が全戸配布18件、回覧25件、行政以外の外部団体の全戸配布59件、回覧164件となっている。年間の区長配布の1回当たりの平均は、全戸配布が6件、回覧が12件、合計で18件となる。このようなことができていく自治体は今の時代には少なく、飛騨市の全国に冠たる自治システムが生きている証左であり、こうした日常的な活動がそれを支えていると言っても過言ではない反面、区長の皆様方には大変ご負担をおかけしていることも承知している。今後回覧をまとめるほかの手段がないか検討すると共に、市役所もそうだが、市役所以外の外部団体の配布物を減らしていくことも検討する。

◆御手洗理事兼企画部長  
答 ①区長配布の件数は、平成29年度の実績では、全戸配布が143件、回覧が290件となっている。内訳は、市役所関係の全戸配布84件、回覧126件、学校関係の全戸配布11件、回覧57件、警

一般質問

**問** 飛騨市の農泊事業の取り組みと今後の見通しについて？

**答** 農泊は民間事業者が実践し、市はゲストハウス等の整備を支援していく。



野村 勝憲 議員

**問** 10月に昭和40年21世帯あった旧宮川村小谷の集落と似た新城市の山里・阿寺地区を視察。豊川からターンし農泊を営むご夫婦の話やNPO法人理事長体験談等大変参考になり、早

速11月有志議員5人で農水・地方創生大臣等歴任の石破茂先生と橋慶一郎復興副大臣に面談し、夏に古川町の古民家で農泊体験と地方創生をテーマに地方議員との意見交換会を提案。市の農泊事業について質問。①農水省から飛騨地域里山資源活用協議会に農泊事業推進の約1300万円交付されたがその成果は。②

**問** この際、商品力のあるうちに飛騨市古川味処施設を民間に売却した方がいいのでは？

**答** 積極的な民間事業者が出てくれば、売却を含めて有効活用方法を検討する。

**問** 書式等複雑で初めての人には不利の声が多い中、3事業者が応募し、その選定時に味処古川協会の運営方法について森葉市議自らが説明した飛騨市古川味処施設を問う。

①市は建物東側に何の目的で誰がいつの増改を承認したか。②市長は市民の財産である施設が勝

手に増改築された事をどう思うか。③味処古川と同様に他の施設でも市議の関与はないか。

◆都竹市長  
◆泉原商工観光部長

**答** ①平成25年度末口頭で衛生面の改善と観光客の休憩用に増改築の申し出があり、黙認していた。②きちんと申請を出して

事業推進の為外部委託の会社名と費用・業務内容は。③市の農泊は稲越、種蔵菅沼、山之村等の山間地からはじめたら？

◆御手洗理事兼企画部長

**答** ①昨年度から動画制作に入り、現在秋の飛騨市の動画撮影を終り編集作業を実施中。②三菱UFJ系コンサルタント会社に委託し市内実態調査やヒアリングを行い手引書を作成する。費用は280万円。③市内全域におけるゲストハウス整備を促進し、農泊につなげたい。



庇が撤去され、5年前と同じ味処古川

もらい許可すべきもの。③ないと思う。

**問** 平成31年度予算編成と市長の政策について

**答** 「身近な暮らしの充実」や保育園から高校までの「課題解決能力を育む教育」などに取り組む。



中嶋 国則 議員

**問** 市長就任から2年9ヶ月経過したが、中々に見えて市内の経済が活性化していない。31年度の予算編成と市長の政策について次の4点を伺う。①予算編成の基本方

針は。②最も力を入れる市長の政策は。③31年度の普通地方交付税の見込みは。④歳入・歳出の見込みは。

◆都竹市長  
◆東総務部長

**答** ①市民が求める課題において、行政にしか出来ない事、行政の支援がなければ成り立たないことに重点的に取り組む。民

**問** 中期財政見通しについて

**答** 公債費の交付税措置分を除いた実質負担額は、32年度に上昇するが38年度にかけて減少。

**問** 平成28年11月に平成31年度までの中期財政フレーム（4年間）が公表された。現在から、4～5年間先の財政見通しはどうか。

**問** 飛騨市スポーツ施設整備計画について

**答** 32年度以降、森林公園にグラウンドゴルフ9コースが設定できる屋内運動場を整備する。

**問** 飛騨市スポーツ施設整備計画について、次の5点について伺う。①スポーツ施設の現状と課題は。②スポーツ施設整備計画の策定方針と策定時期は。③森林公園に屋内

運動の建設を。④森林公園のトイレの洋式化を。⑤すばーふる内にトレーニング機器配備計画は。

◆清水教育委員会事務局長

**答** ①施設が43あり老朽化しており維持費が膨ら

間が独自に取組んでいること、市民の自助努力によって実現できることはサポートに徹する。②「身近な暮らしの充実」に目を向けていく。スポーツの分野では、ニーズの高い施設の改修・整備に本格的に着手する。③税制改正の影響が予想されるため、現段階では予測困難。④「入るを量りて、出ざるを制す」を基本とする。災害復旧工事費の増高を見込む。

◆東総務部長

**答** 33年以降公債費の減少が見込まれることから、その財源を活用していく。

む状況。②計画案を基に市民意見を募集中。年度内に計画を決定する。③管理棟・宿泊棟・テニスコートを取壊し、跡地にグラウンドゴルフ9コースとれる施設を計画予定。④トイレの洋式化は新年度予算協議の中で検討。⑤整備計画検討委員会にて調査した結果見送る。

**問** 夏までに小中学校のエアコン設置はできるか？

**答** エアコン本体の調達や作業員の確保が難しい。



前川 文博 議員

**問** ①補正予算で817

◆清水教育委員会事務局長

**問** 多機能型障がい支援施設。運営費はどうなる？

**答** 定員利用で年間3千7百万円の給付金と想定。

**問** 山田小学校跡地に建設予定の多機能型障がい支援施設について伺う。

◆柚原市民福祉部長

**答** ①運営が安定するまで指定管理料で支援。支援期間は一期目の3年間を目安とする。②全事業を定員で年間利用した場合、約3千7百万円の給付額。月平均で約3百万円が施設の運営費収入。利用料は市独自の減免制するの？

**問** 神岡小学校通学路の安全管理は（倒木の処理）？

**答** 倒木は所有者と協議し、市で除去する。

**問** ①小学生が毎日通る通学路。見た目にも危険を感じる。保護者が安心して通学させることができて

◆青木基盤整備部長

**答** ①国の補助は全額4千3百万円採択された。

工事費は総額2億2千万円。内、補助は8千8百万円。1億3千万円は市の負担。今年度の補正予算で上程する。

度があり、生活介護と就労継続支援B型は0%、短期入所は5%と自己負担額の引き下げをしている。

③利用定員の7〜8割程度の利用が毎日あれば、黒字の運営。現状は5〜6割の利用。

④施設の特性や地域の実情や利用者との関係性を考慮し、市内事業者を対象とした公募。

⑤旧神岡東小学校は、市有物品の管理倉庫として利用。旧山田保育園は選挙の投票所や健診会場として市が直接管理。

**答** ①平成31年度、国の防災安全交付金を活用し用地取得や法面の安全対策工事に入る予定。なお整備区間内の倒木は所有者との協議によるが、市による除去を考えている。

**問** 和光園リノベーション

**答** 親や家族の願いに応えるグループホームとしたい。



住田 清美 議員

**問** 和光園新築後の現建物、リノベーションし、障がい者グループホームなどに利用されるが、利用予定者の声は聴いたのか。また、整備については新築も想定されるが、なぜリノベーションに至ったのか。①障がい者

◆都竹市長

◆柚原市民福祉部長

**答** ①障がいのある方のご家族から常々要望をいただき、また「飛騨市生涯安心計画」策定時にもアンケートを実施し必要

性を認識している。②1点目は新和光園や憩いの家が周辺にあることで、運営者が効率的に対応できること。2点目はコスト面。新築には土地購入造成費、取壊し費、補助金返還に3〜4億円かかる。それらを避けるためにもリノベーションでの整備を選択した。③詳細については今後検討する。

**問** 学校運営について

**答** 教職員の減については、校務支援システムを検討する。

**問** 少子化の影響で学級編成や教職員配置に問題は生じないのか。また、宮川小学校では次年度教頭が配置されない予定と聞か、誰がカバーするのか、地域と連携した教育は継続できるのか。①少子化に伴う学校運営

◆沖畑教育長

**答** ①児童生徒数は5年前と比べ約300人減少し、学級数、教職員数も減っている。職員研修の見直しなどで対処したい。

②宮川小学校は児童数の減により次年度は教頭無配置校となる。教頭の業務は校長が行い、職員の出張等も学校に負担にならないよう配慮する。③本年度から夏季休業中に3日間設け、教職員の8割が閉庁日と年休を併用し複数日の連休を取得しリフレッシュできた。その間緊急対応窓口として市教委が対応したが、現人員からして、閉庁日を増やすことは難しい。

## 一般質問

### 問 ICT基盤整備について

答 効果を見極めながら、段階的に進めていく。



徳島 純次 議員

### 問 ①第2期教育振興計画のICT環境指標の早期達成は。②第3期教育振興基本計画では第2期計画より整備指標が追加され、整備には多大な費用を要するが第3期計画の指標を平成32年までに達成できるか③プログラ

ミング教育の狙いは何か。教師の負担とならないか。④ICT教育の実施により教職員の負担増になるが、どのように働き方改革を行うのか。

### ◆沖畑教育長

答 ①十分に達成できていない。第3期で整備指標が変更されたので、これを踏まえ段階的に整備をする。②上級学年から順に整備する。32年までの達成は非常にハードルが高いが、地方交付税措置のある有利な市債を充当し段階的に進める。③プログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けること。④ICT機器の導入等により教職員の時間外勤務の短縮を図れる。

### 問 外国人実習生の支援について

答 現場のニーズにあわせて柔軟に対応する。

### 問 飛騨市も少子高齢化で生産年齢人口が減少し、外国人労働者への依存度も大きくなります。そんな中、議員4人でベトナムのVINAMEX、JSCとAMASCO、JSC関連の日本語講習センターを視察した。外国人技能実習生は日本語能力が不十分

である。技能実習生への支援について2点伺う。①通訳の支援を1回の通訳費用の5割、回数4回、金額累積24万円までと自由度を持たせられないか。②外国人技能実習生交流事業を年4回開催、飛騨市の各種届出、地域ルール、避難の仕方、受診の仕

### 問 労働力不足対策について

答 250名の慢性的な人材不足。外国人雇用29名、今後も支援を拡充。



洞口 和彦 議員

### 問 飛騨市でも労働力不足は深刻である。外国人雇用を含めて対策を伺う。①飛騨市の現状は。②外国人雇用は。③外国人雇用支援事業は。④技能実習生の能力を受け入れる体制は。

◆柚原市民福祉部長  
答 ①250人前後の慢性的な人材不足。②外国人雇用は7社29名。来年度4社が受け入れを検討。③通訳支援10回、日本語・文化教室3回、面接旅費補助1回、社宅化支援2社利用。交流事業31名参加。今後も検証、改善を図り、柔軟に取り組む。介護分野では特養で昨年取り組まれたが不成立。今後も支援を

方などを母国語で記載した資料配布が出来ないか。



VINAMEX  
日本語講習センターにて

### ◆泉原商工観光部長

### 答 ①受け入れ企業のニーズに合わせて年度途中でも柔軟に制度変更を行い対応する。②地域ルールなどは、受け入れ企業からも要望があり、新年度より実施予定。それ以外も良いことは積極的に取り入れていく。

交流広場は。④カントリーウオーク、ドローン、合宿対策は。

### 問 流葉観光の将来整備計画について

答 Mプラザ・スキー場、財源確保に努め、改修を進める。

### 問 若者のスキー離れやや年末年始の雪不足により来場者の減少、建物やリフトの老朽化が進むなか将来に向けての整備計画を伺う。

◆清水教育委員会事務局長  
答 ①Mプラザは天井部分を低くして安全・耐久を図り、壁や鉄骨、フロアの改修で約8000万円、自然休養

拡充。④日本語・文化教室や実習生交流会等支援を進め現場ニーズに合わせた受け入れ環境の整備を図る。



ベトナム日本語学習センターにて

村センター、セミナーハウスは取り壊しで約4800万円必要。財源に苦慮しているが何らかの見通しが立てられるようにしたい。②安全性を考慮して財源確保と適切な時期を検討しながら改修を進める。③用地交渉が困難と巨額の費用が掛かるため、数河緑地広場と2面整備は困難。④誘致活動を地道に継続。コンベンション補助金、入浴割引券利用促進に努める。

**問** 市民の誇りを確認できるイベントの推進について、市の「思い」を問う。

**答** 飛騨市には市民が誇りを抱ける地域資源が多分野にわたり多く有り、それぞれについて幅広く取り上げ、市民の誇りを認識できる部分を広めたい。



中村 健吉 議員

**問** ①かつてのテレビドラマ・映画を利用するイベントの意義は。②「飛騨の系引き工女」にかかるとるミニ企画展の内容は。③市民が誇りを抱けるイベント推進についての「思い」は。

**答** ①かつてのテレビドラマ・映画を利用するイベントの意義は。②「飛騨の系引き工女」にかかるとるミニ企画展の内容は。③市民が誇りを抱けるイベント推進についての「思い」は。

**問** 道の駅「アルプ飛騨古川」に対する市としての働きかけの限界について。

**答** ①事業者との話し合いの結果について。②話し合いでの事業者の回答は。③市で最も強く運営に要望可能な部署はどこか。④金銭面での援助は継続されるのか。⑤飛騨市として、事業者に対する対応は現状のまま続くのか。

**問** ①事業者との話し合いの結果について。②話し合いでの事業者の回答は。③市で最も強く運営に要望可能な部署はどこか。④金銭面での援助は継続されるのか。⑤飛騨市として、事業者に対する対応は現状のまま続くのか。

**答** ①事業者との話し合いの結果について。②話し合いでの事業者の回答は。③市で最も強く運営に要望可能な部署はどこか。④金銭面での援助は継続されるのか。⑤飛騨市として、事業者に対する対応は現状のまま続くのか。

**問** 道の駅「アルプ飛騨古川」に対する市としての働きかけの限界について。

**答** ①平成29年12月の再オープンからこれまで二回（30年2月・6月）話し合いを持った。今回は年明けを予定。市側からは運営状況や今後の方針等具体的提案をした。②対する業者側の回答は「新メニュー開発は厨房スタッフの育成後二給仕システムはコスト面から

る。②明治以後、製糸産業に携わることで、日本経済の一翼を支えた飛騨地方の女性達の偉業を詳細に史実調査し、歴史的事実・評価・エピソードなどを交えて多くの手段を駆使して広く紹介したい。いずれは町内に常設の資料館を設置したいと考えている。③飛騨市を誇りに思うことが新たなまちづくり活動・行動へと繋がる。市内の多くの意味深い資源を取り上げ、出来るだけ多くの市民の意識にヒットする部分を示したい。

現状維持「二階広間の利用促進PRを図る」イベント実施案はある」であった。③事業者に対する要望は商工観光部が最も強く要望出来る。④振興補助金は制度として継続するので、対象事業があれば今後も継続支援する。⑤民間事業者の所有なので市の関与に限界がある。

## 連合審査会Q&A

連合審査会とは、審査のため、総務・産業の各常任委員会が合同で審査するものです。指定管理者の指定に関する審査内容の一部をQ&Aにて掲載します。

**Q** 施設により審査員の人数の違いがあるのは。

**A** 審査員の人数等はそれぞれの部署で決定する。

**Q** 味処飛騨古川については、観光施設なので、観光客目線で評価・選定していただくため、市外の観光事業者等を審査委員として選定した。

**A** 多ければ多いほどよいと思われるが、上限・下限の人数を決め、選定していきたい。市内の実情を理解した人が入るべきかどうかは、なかなか難しい。その都度判断していきたい。

**Q** 指定管理施設は公の施設である。地方自治法244条に定められた住民の福祉のための施設である。審査員の人数は全施設同じ人数でやるべきでないか。

**A** 指定管理者の選定委員会の審査員の人数の定めはない。

**Q** 所管ごとに審査員を選定するのは。

**A** 所管部署単位である。それぞれの施設の一番詳しい人を審査員として選

**Q** 定している。

**A** 審査員の選定は市内のことをよくわかった人も入れるべきでないのか。また審査員人数は増やすべきでないか。

**Q** 多ければ多いほどよいと思われるが、上限・下限の人数を決め、選定していきたい。市内の実情を理解した人が入るべきかどうかは、なかなか難しい。その都度判断していきたい。

**A** 今回、全国公募・市内公募・非公募と3つの応募方法をされた。今回市内の中で、いくつか応募が競合する施設はあった。これは全国公募をかけたことによつての効果ではなかったか。今の段階で全国公募をした効果は

表れているのか。  
**A** 市内の事業者の数は少ないため近隣のところまで含めて手を挙げるということが出てきたことを考えると、競争性が働いてきたと考える。

**Q** まつり会館は改修のため非公募で1年限定である。今後は非公募なのか、全国公募なのか。  
**A** まつり会館は博物館的な施設として直営にするのか、指定管理施設にするのか検討したい。

**Q** 指定管理は直営にしたほうがよい施設もある。見直しが必要でないか。  
**A** 運営委員会において見直しも含めた議論を行っている。指定管理料の見直しをする際に、直営にすると安くなるから直営にする。あるいは指定管理料が多少高くてもサービスが上がることから指定管理施設とするものもある。

